

平成30年度予算見積調書

課室名：河川砂防課
 担当名：荒川中流・小山川流域担当
 内線：5135 (単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
B31	堤防機能強化対策費			一般会計	土木費	河川費	河川改良費	河川改修費		
事業期間	平成28年度～ 平成30年度	根拠法令	河川法第9条	宣言項目		03	大地震など危機への備えの強化			
				分野施策		020518	治水・治山対策の推進			
1 事業概要 関東・東北豪雨による鬼怒川の決壊を教訓に、市街地内の高堤防で堤防決壊リスクが高い重要水防箇所について、大洪水に対して粘り強い堤防を整備する。 (1) 堤防機能強化対策 250,000千円				5 事業説明 (1) 事業内容 市街地内の高堤防で堤防決壊リスクが高い重要水防箇所の新芝川外4河川について、大洪水に対して粘り強い堤防を整備する。 (2) 事業計画 対象河川：新芝川外4河川 平成28年度から平成30年度の3か年で重点的に堤防機能強化対策を実施する。 (3) 事業効果 大洪水に対して粘り強い河川堤防を整備することにより災害リスクの軽減が図られ治水安全度が向上する。 過去の実績 (単位：千円) 年度 平成28年度 平成29年度 事業費 1,140,000 1,350,000						
2 事業主体及び負担区分 県 (10/10)										
3 地方財政措置の状況 河川等通常債 充当率90% (通常分90% 財対分0%) 交付税措置 なし										
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×8.1人=76,950千円										
予算額		財源内訳							一般財源	前年との対比
決定額	250,000	県債						0	△1,100,000	
前年額	1,350,000							0		